

<u>マクロとは?</u>

「マクロ」とは、「テーブルを開く」、「フォームを開く」、「レポートを印刷する」といった Access の操作を、連続して、自動的に行うための機能です。「マクロ」によって、定型的な繰り返し操作をワンタッチで実行することができます。

マクロの作り方	
■ データベースウィンドウのマクロ画面で、[新規作 成]ボタンをクリックします。	
▶ マクロのウィンドウで、任意の「 アクション」 を選択し ます。	マクロ1:マクロ □× アーブルを留く コメント ケーブルを閉く クエリを開く フォームを閉く レポートを閉く レポートを閉く メッセージボックス
■☞アクションの引数を指定します。	アクションの引数 テーブル名 都道府県テーブル ビュー データシートビュー データモード 編集 コンシトを入力します。
 マクロを実行するには、マクロを保存したあと、メニューの[実行]-[実行]を選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。 	

<u>マクロの利用法</u>

マクロは、データベースウィンドウから実行するだけでなく、フォームのボタンなどに割り当てることもできます。それによって、画面上のボタンをクリックすることによってさまざまな処理を自動実行させるという、オリジナルのメニュー画面を 作ることもできます。

■ まず空のフォームを新規作成します。ここでは、「フ オームの新規作成」画面で「デザイン ビュー」を選 択します。

フォームの新規作成	?×
ウィザードを使わずに新しいフォーム を作成します。	プサイン ビュー フォーム・オイリード オートフォーム、単重形式 オートフォーム、表形式 オートフォーム、表形式 オートフォーム、テータシート グラフ ウィザード ビボットテーブル ウィザード
基になるテーブルまたはクエリの選択	OK キャンセル

フォームに、ツールボックスから2つの「コマンドボタン」を挿入し、適当な位置とサイズに配置します。

闘 フォーム1:フォーム					L
· · · 1 · · · 2 ·	1 • 3 • 1 • 4 • 1	5 . 1 . 6 .	1 • 7 • 1 • 8 •	· ₁ · 9 · ₁ · 10	
●詳細					
i•	בדב	°0 4			
			<u> </u>		
2	ועקב	°1 🔺			
					<u> </u>
Aα ab∣ 🛄 🚽					
• 🖬 📰					
			•		
🗆 🞘					

▶ ◆ 各ボタンの「標題」プロパティを設定します。「標題」 プロパティには、実際に、画面のボタン上に表示さ れる文字を指定します。

😭 コマンド ボタン: コマンド0		×
│ 書式 │ データ │ イベント │	その他 すべて	
名前		
標題	<u>すべて開く</u>	
ビクチャ	埋め込み	
透明	いいえ	
既定のボタン	いいえ	
キャンセルボタン		
目期繰り返し	LILIZ	
ハイバーリンクアドレス		-

各ボタンの「クリック時」イベントの欄に、ボタンがク リックされたときに実行したいマクロ名を指定しま す。

🖆 אעדב אפא אעדב 😭	×
書式 データ イベント その他 すべて	
フォーカス取得後	
クリック時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
マンヘルシン単純が中、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•

フォームを開いて、それぞれのボタンをクリックすると、 指定されたマクロが実行されます。

■ マクロのテス	トフォーム:フォーム	
 Va+K: M	 1 ▶ ₩ ⊯ / 1	

このようなメニュー機能を持ったフォームを、データベースファイルを開くと同時に表示させるには、メニューから[ツール]-[起動時の設定]を選択し、「フォーム/ページの表示」にそのフォーム名を指定します。

起動時の設定			? ×
アプリケーション タイトル(<u>P):</u>	フォーム/ページの表示(<u>0</u>):		ОК
】 アプリケー・ション アイコン(1):			キャンセル
	▼ ステータス バーの表示(B)		詳細(<u>A</u>)>>
メニュー バー(<u>M</u>):	ショートカット メニュー バー(S):		
(既定の設定)	(既定の設定)	•	
🔽 すべてのメニューを表示する(U)	🔽 組み込みツールバー(1)		
🔽 既定のショートカット メニュー(W)	▼ ツールバー/メニューの変更(<u>R</u>)		



データベース全般の操作

●データベースの最適化/修復

Access のデータベースファイルは、レコードの削除を行っても、その分ファイルサイズが小さくなることはありません。 見た目にはレコードが消えていても、内部的にはまだ残っています。「最適化/修復」を行うことによって、それらの削除 レコードをファイル上から完全に削除し、ファイルサイズを小さくすることができます。

Microsoft Access		
」ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入Φ	ツール① ウィンドウѠ ヘルプ(出	>
] D 😅 🖃 🎒 🖪 🖤 👗 🖻 I	データベース ユーティリティ(<u>D</u>)	データベースの変換(T) ▶
	セキュリティーク 起動時の設定(U)	
	 アドインΦ	リンク テーブル マネージャ(L) データベース分割ツール(D)
	ユーザー設定(©) オプション(<u>0</u>)	メニュー用フォーム ビルダ(S) アップサイジング ウィザード(U)
	*	- ở MDE ファイルの作成(M)

●オプションの設定

[ツール]メニューから表示される「オプション」画面を使うと、Access の全般的な動作や設定を変更することができます。



総合演習

「商品マスタ」テーブルと「売上実績」テーブルをクエリーで結合し、次のようなオブジェクトを作ってください

- 売上実績一覧表(クエリー)
- 売上高トップ 10 商品(集計クエリー)
- 売上高順商品一覧(集計クエリー)
- 売上高順商品一覧テーブル(作成クエリー)
- 商品マスタの単価を 1.05 倍する更新クエリー
- 商品マスタ入力画面(フォーム)
- 売上実績一覧表(レポート)

売上実績一覧表(クエリー)

■ 売上実績	一覧表クエリー : 選択	マクエリ					_O×
売上 ■ 売上 商品 売上	実結 :日付 ;⊐−ド 数量	商品マスタ ★ 商品名 単価					▲
フィー テー・ 並べ! 抽出ま;	ルド: 売上日付 ブル: 売上実績 琴え: 昇順 長示: 図 条件: 日よ:	商品コード 売上実績 昇順 ☑	商品名 商品マスタ ジ	単価 商品マスタ 2	売上数量 売上実績 ☑	克上高: [単価]*(克上数量] ☑	

<u>売上高トップ 10 商品(集計クエリー)</u>

■売上高トップ10	商品クエリー:選	択クエリ		留クエリ	プロパティ			׼
先上実活 * D 売上日付 商品コー 売上数量		商品マスタ ★ 商品名 単価		標準 2 2 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-ルド表示 値 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	しいえ 10 いいえ いいえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
フィールド: テーブル: 集計:	 商品コード 売上実績 グループ化 	商品名 商品マスタ グループ化	売上高:[単価]*(売上 合計					
並べ替え: 表示 抽出条件: または:								
	•							• •

売上高順商品一覧(集計クエリー)

■ 売上高順商品→覧クエリー : 選	択クエリ	<u> 留</u> りエリ	プロパティ			×μ
売上実結 ▼ □ 売上日付 商品コード 売上数量	商品マスタ * 商品コード 商品名 単価	標準 説明 全フィー トップ加 固有の 周 月行権 デデー レコー	ールド表示 値 他コード 限 ータベース アプリケーション ビック	 すべて 	 -ġ~-	
フィールド:	商品名 高品マスタ グルーブ化 合計 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 二 二 高 「 単価]* う に 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	 売上数量]]		

売上高順商品一覧テーブル(作成クエリー)



商品マスタの単価を 1.05 倍する更新クエリー

■ 商品マスタ単価	更新クエリー : 更新クエリー		
商品マスタ * 商品コード 商品名 単価			<u> </u>
			•
フィールド テーブルド レコードの更新 抽出条件 または:	単価 商品マスタ [単価]×1.05		